

整理番号: jahigashi-10
作成日: 2021年3月2日

製品安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品名	くみあい化成高度222号
登録番号	生第72024号
会社名	全国農業協同組合連合会
担当部署	耕種資材部
住所	〒100-6832 東京都千代田区大手町 1-3-1 JAビル 33F
電話番号	03-6271-8285
電子メールアドレス	zz_hiyaku-gizyutsu@zennoh.or.jp
FAX番号	03-5218-2536
緊急連絡番号	03-6271-8285

推奨用途及び使用上の制限 肥料用及び肥料原料用。肥料用途以外には使用しないで下さい。

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性

爆発物:	分類できない
可燃性/引火性ガス:	分類対象外
エアゾール:	分類対象外
支燃性又は酸化性ガス:	分類対象外
高压ガス:	分類対象外
引火性液体:	分類対象外
可燃性固体:	分類できない
自己反応性化学品:	分類できない
自然発火性液体:	分類対象外
自然発火性固体:	分類できない
自己発熱性化学品:	分類できない
水反応可燃性化学	分類できない
酸化性液体:	分類対象外
酸化性固体:	分類できない
有機過酸化物:	分類できない
金属腐食性物質:	分類できない

健康に対する有害

急性毒性(経口):	分類できない
急性毒性(経皮):	分類できない
急性毒性(吸入:気体):	分類対象外
急性毒性(吸入:蒸気):	分類できない
急性毒性(吸入:粉塵、ミスト):	区分4
皮膚腐食性及び皮膚刺激性:	区分2
眼に対する重篤な損傷性又は眼刺	区分2A
呼吸器感作性:	分類できない
皮膚感作性:	分類できない
生殖細胞変異原生:	分類できない
発がん性:	区分1
生殖毒性:	分類できない
生殖毒性・授乳影響:	分類できない
特定標的臓器毒性(単回暴露):	区分1(呼吸器系) 区分2(全身)
特定標的臓器毒性(反復暴露):	区分1(呼吸器系) 区分2(全身毒性)
吸引力呼吸器有害性:	分類できない

環境に対する有害

水生環境急性有害性	分類できない
水生環境慢性有害性	分類できない
オゾン層への有害	分類できない

注)上記で区分の記載がない危険有害性は政府向けガイダンス文書で規定された[分類対象外]、[区分外]または[分類できない]に該当するものであり、後述の該当 項目の説明を確認する必要がある。

GHSラベル要素
絵表示



注意喚起語 危険

危険有害性情報

- H315: 皮膚刺激
H319: 強い眼刺激
H332: 吸入すると有害
H350: 発がんのおそれ
H370: 呼吸器系の障害
H371: 神経系の障害のおそれ
H372: 長期にわたる又は反復ばく露による呼吸器系の障害
H373: 長期にわたる又は反復ばく露による全身毒性の障害のおそれ

注意書き

- 【安全対策】
P201: 使用前に取扱説明書を入手すること。
P202: 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
P260: 粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。
P261: 粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーの吸入を避けること。
P264: 取扱い後は手洗い・うがいをして、よく洗うこと。
P270: この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。
P271: 屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。
P280: 保護手袋／保護委／保護眼鏡／保護面を着用すること。
- 【応急措置】
P302+P352: 皮膚に付着した場合: 多量の水と石鹼で洗うこと。
P304+P340: 吸入した場合: 空気の新鮮な場所へ移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
P305+P351+P338: 眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。
次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。
その後も洗浄を続けること。
P308+P311: ばく露または、ばく露の懸念がある場合: 医師に連絡すること。
P308+P313: ばく露または、ばく露の懸念がある場合: 医師の診断/手当を受けること。
P312: 気分が悪いときは、医師に連絡すること。
P314: 気分が悪いときは、医師の診断/手当を受けること。
P321: 特別な処置が必要である(「4.応急処置」参照)
P332+P313: 皮膚刺激が生じた場合: 医師の診断/手当を受けること。
P337+P313: 眼の刺激が続く場合: 医師の診断/手当を受けること。
P362+P364: 汚染された衣服を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をしること。
- 【保管】
P405: 施錠して保管すること。
- 【廃棄】
P501: 内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託すること。

3. 組成及び成分情報
化学物質・混合物の区別 混合物

化学名又は一般名

原料名	化学式	化管法	安衛法
硫酸アンモニウム	(NH ₄) ₂ SO ₄	非該当	非該当
塩化アンモニウム	NH ₄ Cl	非該当	該当
リン酸二アンモニウム	(NH ₄) ₂ H ₂ PO ₄	非該当	非該当
塩化加里	KCL	非該当	非該当
石膏	-	非該当	非該当
シリカヒューム(非晶質)	SiO ₂	非該当	非該当

危険有害成分	化学名又は一般名	含有量	CAS No.	化管法	安衛法
	塩化アンモニウム	7.0%	12125-02-9	非該当	該当

成分及び含有量	保証成分	
	アンモニア性窒素	12.0%
	可溶性リン酸	12.0%
	内水溶性リン酸	8.0%
	水溶性加里	12.0%

4. 応急措置

吸入した場合	直ちに新鮮な空気のある場所に移し、保温、安静にする。咳込み、息切れ、咽頭痛などの症状がある場合には、直ちに医師の手当を受ける。 (分解ガスを吸入した場合も同様の処置を取る。)
皮膚に付着した場合	直ちに、汚染された衣類、履物、などをすべて脱がせ、安全に保管すること。 直ちに、医師に連絡すること。 皮膚刺激が生じた場合、医師の診断、手当てを受けること。 凍傷の場合は、大量の水で洗い流し、衣類は脱がせない。
眼に入った場合	直ちに綺麗な水で数分間、注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外しその後も洗浄を続けること。 眼の刺激が持続する場合や発赤や異物感が眼に残るようであれば医師の診断、手当てを受けること。
ばく露または、ばく露の懸念がある場合	気分が悪いときは、医師に連絡すること。
飲み込んだ場合	少量の場合は水を飲み、うがい等を行う。気分が悪い場合は医師の手当て、診断を受ける。
呼吸に関する症状が出た場合	直ちに医師に連絡すること。

5. 火災時の措置

消火剤	水、粉末消化剤、炭酸ガス
使ってはならない消火剤	データなし。
特有の危険有害性	本製品は窒素原子を含有しているので、燃焼ガスには、アンモニアガス、一酸化窒素の他、窒素酸化物系のガス等の有毒ガスが含まれているので、消化作業の際には、煙を吸入しないように注意する。
特有の消火方法	本製品は不燃性であり、かつ原料には粉末消化剤として使われる物であるので、本製品に対する消化活動は不要である。 周辺火災の消火活動においては、排煙中に有害なアンモニアガスを含有するので、消化作業は風上から行い、必要に応じて呼吸保護具を着用し大量の水または適切な消化剤を用いて消化する。
消火を行う者の保護	消化活動は、呼吸保護具、防護服(耐熱性)の他、適切な保護具(手袋、眼鏡、マスク等)を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項保護具及び緊急措置	適切な保護眼鏡、保護マスク、不浸透性手袋、ゴム長靴、不浸透性防除衣を着用し拭き取り回収を行うこと。
環境に対する注意	公共用水域に流出しないように留意すること。
回収・中和	シート等で覆い、飛散防止を図り、容器を回収する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い	技術的対策	『8. ばく露防止及び保護措置』に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。
	局所排気・全体換気	『8. ばく露防止及び保護措置』に記載の局所排気、全体換気を行う。
	安全取扱い注意事項	皮膚および眼との接触を避ける。粉じん、煙、蒸気、スプレーを吸入しないこと。

		衣類、その他の可燃物から遠ざけること。 適切な保護手袋、保護面を着用すること。 取扱後は手をよく洗うこと。 この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。
保管	技術的対策	特別に技術的対策は必要としない。
	保管条件	施錠して保管すること。
	容器包装材料	データなし。

8. ばく露防止及び保護措置		
設備対策		この物質を貯蔵ないし取扱う作業場には、適切な洗眼器と安全シャワーを設置すること。 ばく露を防止するため、作業場には適切な全体換気装置、局所排気装置を装置を設置すること。
保護具	呼吸器の保護具	適切な呼吸器保護具を着用すること。
	手の保護具	適切な保護手袋を着用すること。
	眼の保護具	適切な眼の保護具を着用すること。
	皮膚及び身体の保護	適切な保護衣を着用すること。
衛生対策		取扱い後はよく手を洗うこと。

9. 物理的及び化学的性質		
物理的状态(形色臭い)		粒状 灰色 データなし
沸点又は初留点及び沸点範囲 可燃性		データなし データなし
爆発下限界及び爆発上限界／可燃限界		データなし
引火点 自然発火点 分解温度		データなし データなし データなし
pH		6.5～7.5
動粘性率		データなし
蒸気圧		データなし
密度及び／又は相対密度		データなし
相対ガス密度		データなし
粒子特性		データなし
容積重又は嵩比重		0.95～1.20
溶解度		水に一部溶解

10. 安定性及び反応性		
安定性・反応性		データなし
科学的安定性		法規制に従った保管および取り扱いの上では安定。
危険有害反応可能性		加熱すると分解し、有毒で刺激性のヒューム(窒素酸化物、アンモニウム、塩化水素)を生じる。 硝酸アンモニウム、塩素酸カリウムと激しく反応し火災や爆発の危険性をもたらす。

	銅およびその化合物を侵す。
避けるべき条件	加熱
混触危険物質	硝酸アンモニウム、塩素酸カリウム
危険有害な分解性生物	窒素酸化物、アンモニア、塩化水素

11. 有害性情報

急性毒性	ラット経口：LD50	2,823mg/kg(計算値)
皮膚腐食性・刺激性	データ不足のため分類できない	
眼に対する重篤な損傷・刺激性		
	硫酸アンモニウム：	人の眼を軽度刺激する。(区分2B)
	塩化アンモニウム：	人の眼を軽度刺激する。(区分2B)
	塩化加里：	人の眼を軽度刺激する。(区分2B)
呼吸器感作性又は皮膚感作性		
	呼吸器感作性：	データなし
	皮膚感作性：	データなし
生殖細胞変異原性	データ不足のため分類できない	
発がん性	データ不足のため分類できない	
生殖毒性	データ不足のため分類できない	
特定標的臓器毒性(単回暴露)		
	硫酸アンモニウム：	神経系の障害のおそれ(区分2)
特定標的臓器毒性(反復暴露)		
	硫酸アンモニウム：	区分外
	塩化アンモニウム：	区分1(全身毒性)
	塩化加里：	区分外
吸引性呼吸器有害	データ不足のため分類できない	

12. 環境影響情報

生態毒性	水生環境有害性(急性有害性)	データ不足のため分類できない
	水生環境有害性(長期間有害性)	データ不足のため分類できない
残留性・分散性	データ不足のため分類できない	

生体蓄積性	データ不足のため分類できない
土壌中への移動性	データ不足のため分類できない
オゾン層への有害性	当該混合物を構成する物質はモントリオール議定書の附属書に列記されていない。

13. 廃棄上の注意
肥料として農作物に適量撒くか、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」に従って廃棄する。

14. 輸送上の注意		
国際規則	海上規制情報 航空規制情報	該当しない。 該当しない。
国内規則	陸上規制情報 海上規制情報 航空規制情報	消防法の規定に従う。 船舶安全法の規定に従う。 航空法の規定に従う。
特別安全対策		輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み荷崩れの防止を確実に行う。 海上輸送や水濡れに注意すること。 破袋しないよう丁寧に扱うこと。

15. 適用法令		
化学物質排出把握管理促進法：	該当なし	
労働安全衛生法	塩化アンモニウム：	名称等を通知すべき危険物及び有害物 (法第57条の2、施行令第18条の2別表第9)(政令番号：9-96)
毒物及び劇物取締法：	該当なし	
水質汚濁防止法	硫酸アンモニウム：	アンモニア、アンモニウム化合物、亜硝酸化合物及び硝酸化合物 (施行令第2条第26号)
	塩化アンモニウム：	アンモニア、アンモニウム化合物、亜硝酸化合物及び硝酸化合物 (施行令第2条第26号)
	リン酸二アンモニウム：	アンモニア、アンモニウム化合物、亜硝酸化合物及び硝酸化合物 (施行令第2条第26号)
肥料の品質の確保等に関する法律		化成肥料

16. その他の情報	
免責条項	記載内容は現時点で入手できる法令、資料、情報、データにもとづいて作成しておりますが、すべての資料を網羅したわけではありませんので、取り扱いには十分注意してください。 含有量、物理化学的性質、危険・有害性等に関しては、いかなる保証をなすものではありません。 注意事項は通常の手続きを前提としたもので、特殊な取り扱いの場合には、用途・用法に適した安全対策を実施の上、ご利用ください。

本SDSは下記、JA東日本くみあい飼料株式会社の情報を元に作成しました。
該当物質については下記にお問い合わせください。

会社名	JA東日本くみあい飼料株式会社
住所	群馬県太田市東新町818番地
担当部署	大間々肥料工場
電話番号	0277-73-2621
FAX番号	0277-73-2622
緊急連絡番号	同上
	土日祝祭日を除く AM8:30～PM17:20対応